

国語
六一
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじよ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましょう。

- ① え戸しぐさを身に付けた人を尊敬する。
- ② 自己中心的な考えを改める。
- ③ 多くの星座を見つけて感激する。
- ④ 宇宙にはたくさんの方がいる。
- ⑤ 胸筋をきたえる。

国語
六一二
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

- ① 祖父は葉巻を吸う。
- ② 映画の割引券を手に入れる。
- ③ 終りよう時刻が延びて困る。
- ④ 皇后陛下のお言葉に胸を打たれる。
- ⑤ 胸さわぎがする。

国語
六一三
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に

書きましよう。

① 郷里が世界遺産に選ばれる。

② 絹の布を裁つ。

③ 勤務先の沿革を調べる。

④ 下巻の教科書を机上きじょうに置く。

⑤ 砂場で穴をほる。

国語
六―四
(読み)

第六学年の漢字（読み）

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

① 革くわぐつを干かす。

② 机こに座まってはいけない。

③ 劇げき場の警備けいびをすする。

④ 恩師おんしを敬うやまう。

⑤ 山沿やまのいの地ち域いきに激げきしい雨あめが降ふる。

国語
六一五
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

① 異国いこくの旅は、貴重きゆうな経験けいけんである。

② 簡単かんぱんな問題もんだいを解とく。

③ 深呼ふか吸すをする。

④ 延長戦えんちやうせんに入る。

⑤ 鉄骨てつこつの建物たてもの。

国語
六一六
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

① 巻き寿司ずしはおいしい。

② 内閣総理大臣が決まった。

③ 砂金を見つけた。

④ 郷に入っては郷に従えと言われる。

⑤ 物事の系統性について考える。

⑥ 委員に選ばれて困わくする。

国語
六一七
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

- ① 親孝行おやうやうをする。
- ② 憲法けんぽうについて、一冊の本ひととみを読む。
- ③ パソコンの電源でんげんを入れる。
- ④ 紅葉こうようが美しい季節きせうになる。
- ⑤ 口紅くちびるを使う。
- ⑥ 提出期限ていしゅきげんを厳守げんしゅする。

国語
六—八
(読み)

第六学年の漢字（読み）

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

- ① 異なる株をこう入する。
- ② 試合で首筋をいためる。
- ③ 湖面に山が映る。
- ④ 干しようしすぎると危ない。
- ⑤ 厳しい現実をつきつけられる。

国語
六一九
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじよ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

① 誤字脱字だっじがないようにする。

② 言葉の使い方を誤る。

③ あまりの楽しさに我を忘れる。

④ 疑問を解決する。

⑤ 友達を疑うことをやめる。

⑥ 簡単に朝食を済ます。

国語
六一十
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に

書きましよう。

① 夕日に映える山の景色。

② 国会の会期を延ばす。

③ 腹筋が割れる。

④ 手をすべらせて皿を割る。

⑤ 権力を行使する。

国語
六一十一
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

① 灰色そらもようの空模様になり降水かくりつ確率が増す。

② 危険を察知する。

③ すくいの手を差しのべる。

④ 水を供給するシステム。

⑤ 仏だんに花を供える。

⑥ 子供たちの未来を考える。

国語
六一十二
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に

書きましよう。

① 鉄鋼所に勤めるための策を考える。

② 大声で友達を呼ぶ。

③ 魚の骨がのどにつまる。

④ わたしの元気の源は朝ごはんです。

⑤ 法皇の話聞く。

国語
六一十三
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に

書きましよう。

- ① バスから乗客が降りる。
- ② トラックから荷物を降ろす。
- ③ あの日の出来事を心に刻む。
- ④ 困っている人々を救済する。
- ⑤ おいしい食事が済む。

国語
六一十四
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

① 温泉おんせんを訪まねる。

② 校庭こうていの夏なつみかんはすじっかり熟じやくした。

③ 諸行しよぎやう無常むじやうのひびきあり。

④ 衆議院しゆぎいんで可決かけつされた。

⑤ 陸上競技大会りくじやうきんぎたいかいに向けて、タイムを縮ちぢめてい
きたい。

国語 六一十五 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに

書きかましよう。

- ① 善ぜんは急いそげ。
- ② 今いま年は豊ゆほう作さくで、収こかくが楽らくしみだ。
- ③ 希き望ぼうした会かい社しゃに就しゅう職しやくが決けつまった。
- ④ 健けん康こうを保たもつためには、姿すがた勢せいを正ただしくするこ
とも大だい切せつだ。
- ⑤ 町まち田ぢ市しは、かっつて養やう蚕さん業ぎやうが盛さかんでした。

国語
六一十六
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に

書きましよう。

① 窓から下をのぞくと、友達が体操していた。

② この凶形が垂直であることを説明する。

③ 立派なとう磁器をもらい受けた。

④ 傷口を応急処置した。

⑤ 一寸先は闇。

国語
六一十七
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましょう。

① 私の町の図書館は蔵書数が多い。

② 今日は忘れずに宿題をやることを宣言した。

③ 相手に誠意を見せる。

④ 壁かべに耳みみあり障子しょうしに目めあり。

⑤ 学芸会の衣装がうしやうを洗せんたくした。

国語
六一十八
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

① 家賃かぜんを納なめた。

② 討議たうぎの結果、みんなが納得なとくした。

③ 天皇陛下てんかうへいかがご覧らんになった絵。

④ 同盟国どうめいこくを訪問ほうもんする。

⑤ 蚕さなぎのまゆを染色しんしきした。

国語
六一十九
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましょう。

① え戸城を築城したのは太田道灌だ。
おおた どうかん

② かれは独創的な演奏をする。

③ 長い階段は負担に感じる。

④ かの女は朗らかな性格である。

⑤ あの俳優は演技がうまいことで世間から

認められている。

国語
六一二十
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に

書きましよう。

- ① 納豆には卵黄を入れるのが好みだ。
- ② 世界には多くの宗教がある。
- ③ 昨晚のことは秘密にして欲しい。
- ④ 党首による演説会が行われた。
- ⑤ 東京都の庁舎の場所を確認した。

国語
六一二二
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

- ① 難しい問いに顔を背けた。
- ② その問題は改善の余地がある。
- ③ 地層がどのようにできたのか、興味がある。
- ④ 誕生日に花が届くように手配した。
- ⑤ 俳句の雑誌に名前がのった。

国語
六一二二
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

- ① 人間の脳は右脳と左脳に分かれている。
- ② 幼い子供たちを前に朗読を行う。
- ③ 法律の試験に臨んだ。
- ④ 片方の言い分だけでは分からない。
- ⑤ コーヒーに牛乳と砂糖を入れて飲むのが好きだ。

国語 六一二三 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに

書きかましよう。

- ① 助けてくれた恩人の背中を思わず拝んだ。
- ② 山頂から見下ろすと、すぎ並木が連なっていた。
- ③ 班長に推せんした。
- ④ 毎朝、自宅に牛乳が届けられる。
- ⑤ 郵便局の裏側に私の家がある。

国語 六一二四 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

の漢字の読みを
の右側に

書きましよう。

① え戸幕府の初代將軍は徳川家康だ。

② 立候補者による公開討論会が行われた。

③ 多くの署名を集めるため、奮起しなければ
ならない。

④ その山のふもとには樹海が広がっていた。

⑤ かれのばん奏は心に染みる。

国語
六一二五
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に

書きましよう。

① 捨てる神あれば拾う神あり。

② 寒暖の差がはげしい時期である。

③ 尺八は太く重厚な音色と言われている。

④ 私は班長を尊敬している。

⑤ かれの夢は宇宙飛行士になることだ。

国語
六一二六
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

① 朝晩、二人は並んで走っていた。

② 優しいかの女はみんなから好かれている。

③ ひざが痛くて、頂上まで登れそうもない。

④ 先生からいただいた一枚のハガキは私の

宝物となった。

⑤ 飛行機の模型が欲しい。

かんじ よ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

- ① 批判は承知の上で自分の意見を述べた。
- ② 今でも注射の針を見るのが苦手だ。
- ③ かれは容疑を否認している。
- ④ となりにには若い夫婦が暮らしている。
- ⑤ 昔、主君と家来は主従関係を結んでいた。

国語
六一二八
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

① 縦と横の長さを測って、面積を求める。

② その作者は多くの名作を著した。

③ かれの個展に多くの人が訪れた。

④ 質屋の蔵には多くの作品が保存されていた。

⑤ 肺えんで亡くなる人も少くない。

国語
六一二九
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に

書きましよう。

① 城の石段をそうじする。

② かん臓は沈黙の臓器と言われている。

③ 部屋の中は至る所ほこりだらけだった。

④ いつもはおだやかなかれが少し取り乱していた。

⑤ 雨は翌日まで続いた。

国語
六一三十
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ
よ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

① かれは人形を自由自在に操ることができ
る。

② 片方の窓は閉められていた。

③ 水蒸気は無色の気体である。

④ 値段が安いものを探す。

⑤ 君の立派な行いは尊敬に値する。

国語
六一三二
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ
よ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

① いつものまにか、かれは姿を消していた。

② 熟れたももは傷むのも早い。

③ 今日(けふ)は暖かいと言うより蒸し暑い一日になりそうだ。

④ いつか飛行機を操縦してみたい。

⑤ しん縮性の高い生地で作られた服は

着心地がよい。

国語
六一三二
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ
よ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

- ① 優れた成績で勝利を収めた。
- ② 長所と短所は表裏一体だ。
- ③ 源氏物語の現代語訳を読むことにした。
- ④ 回覧板を届けるため、となりの家を訪ねた。
- ⑤ ラーメンの大盛りを食べて満腹になった。

国語
六一三三
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

① 君が味方になつてくれるなら鬼おにに金棒だ。

② 小さなことに腹を立ててはならない。

③ かれは職務に忠実だ。

④ うず潮が一番大きく見えるのは満潮の時
だ。

⑤ 作詞家になるために専門学校に通った。

国語
六一三四
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

① 若年層の視力低下が問題になっている。

② 教会で聖書を読む会に参加した。

③ いつまでも純すいな気持ちを忘れないで
いて欲しい。

④ 医は仁術という格言がある。

⑤ 未来を担う若者たちに必要な力は情報を

取捨選たくする力だ。